

献辞

平成3年3月定年を迎えられた渡部賢宗先生の長年にわたる本学への多大なご貢献に報いるべく、ここに「駒澤大学北海道教養部研究紀要特別記念号」を刊行し、心から深甚の謝意を表します。

先生は、大正9年11月札幌にて出生され、昭和28年駒澤大学仏教学部禅学科を卒業、同30年には人文科学研究科修士課程を終了、曹洞宗宗学研究所を退所された後、昭和33年4月母校の仏教学部の助手兼講師として教育・研究活動のスタートをきられた。同39年北海道に教養課程分置が認可されるや教養部助教授として派遣され、同43年教授に昇任、教養部発展の先導的役割を果された。その後研鑽を重ねられ昭和47年4月「道元禅師の戒学儀軌の基礎的研究」によって文学博士が授与された。同51年4月苫小牧駒澤短期大学長及び附属高等学校長の要職につかれ、同55年9月北海道教養部長及び岩見沢駒澤短期大学長・附属高校長として戻ってこられ同61年3月に至るまで教育行政の面においても重責を果された。平成2年4月には、お住いの中富良野町から文化教育功労賞を、ご退職後駒澤大学名誉教授を授与されておられる。

先生は北海道印度哲学仏教学会の理事を務めておられ、学術論文は、「禅戒に関する」ものが数多くあり、編著書に関しては「祖山本永平廣録考注集成」上下（昭和63年平成元年―一穂社）「人間如何に生きるべきか（平成3年―一穂社）」などを代表としてあげることができる。

本学では、先生は禅学・宗教学などを担当され、先生の真摯な教育、優れた研究理論、そして自己に対しては厳しい

が他に対しては温厚篤実なお人柄は、多くの教職員だけでなく学生・卒業生からも敬愛されている。

ここに渡部賢宗先生の本学への多大なご貢献に対し謝意を表し、研究紀要特別記念号を刊行するものです。先生の増々のご健勝をお祈りし、併せて今後とも変わらないご指導をお願い致します。

平成4年3月

駒澤大学北海道教養部長

三 島 出